

# 議案の審議結果 (○賛成 ×反対)

録画映像をご覧ください



ネット:生活者ネットワーク

議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	自民党福生	ネット	立憲民主党	議決結果
<b>市長提出議案</b>								
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて(福生市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	承認
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて(福生市都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	承認
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて(福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	承認
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて(福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	承認
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて(福生市中小企業振興資金融資条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	承認
報告第6号	専決処分の承認を求めることについて(福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	承認
報告第7号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度福生市一般会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	承認
報告第8号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	承認
議案第24号	福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第25号	福生市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第26号	福生市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第27号	福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第28号	福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第29号	福生市学童クラブの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第30号	福生市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第31号	令和2年度福生市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第32号	令和2年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第33号	福生市表彰条例に基づく一般表彰について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第34号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	福生市立学校施設等整備基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	福生市新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金基金条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第37号	令和2年度福生市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第38号	福生市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第39号~45号	福生市農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	同意
<b>委員会提出議案</b>								
委員会提出議案第1号	小児がん等「特別な理由」で予防接種の再接種が必要な子どもに対する接種費用助成を定期接種と同等に位置付けることを求める意見書	○	○	○	○	○	○	可決
<b>市長提出議案</b>								
報告第9号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度福生市一般会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	承認
議案第46号	令和2年度福生市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	可決
<b>委員会提出議案</b>								
委員会提出議案第2号	横田基地の基地機能強化に関する決議	○	○	○	○	○	○	可決

**委員会提出議案第1号**  
小児がん等「特別な理由」で予防接種の再接種が必要な子どもに対する接種費用助成を定期接種と同等に位置付けることを求める意見書(要旨)

※全文をホームページに掲載

**《要望事項》**  
化学療法や移植、免疫療法などで予防接種の効果が弱くなったり、失われた子どもに対し再接種する費用の助成を定期接種と同等の位置付けとすように早期実施すること。

再接種により副反応や後遺症など健康被害が出た場合、国が持つ研究データやワクチンのエビデンスをもとに、定期接種と同等の健康被害救済補償が受けられるようにすること。

(提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長)

**陳情**  
結論の付いた陳情は次のとおりです。

◆採択  
○小児がん等「特別な理由」で予防接種の再接種が必要な子どもに対する接種費用助成を定期接種として位置付けることを国へ求める意見書提出に関する陳情書(第2・1号)

**委員会提出議案第2号**  
横田基地の基地機能強化に関する決議

先般、福生市議会は、令和2年7月2日の立川市内へのパラシュート落下事故を受けて、7月6日に落下の原因究明と安全確保を要請し、再発防止策を講ずるまでと同様の訓練は行わない旨を要請した。

しかるに7月7日、横田基地におけるパラシュート降下訓練中に、福生市牛浜58-1にフィン(足ひれ)が落下する事故が発生した。この事故については、当該落下物を市民が拾得したことを契機に事故が明らかになったもので、先の要請を行った翌日に発生しており、誠に遺憾であるとし、7月14日に抗議書を議決、発送したところである。

これらの度重なる事故は、市民生活の不安を損なうものであると同時に、これまでの築き上げてきた当市との信頼関係を水泡に帰すもので甚だ遺憾であり、これまでの要請や抗議が届き届いていない無念さを感じる。

福生市は、旧福生町から現在に至るまで75年の間、基地を抱えた行政運営を余儀なくされてきた。近年では、平成17年に日米安全保障協議委員会(2+2)の中間報告を経て、平成18年には「再編実施のための日米のロードマップ」が発表され、在日米軍及び関連する自衛隊の再編に向けた計画が示された。そして、平成24年より航空自衛隊横田基地の運用が開始されている。横田基地は、米軍の司令部機能と輸送中継機能を有する基地から、航空自衛隊航空総隊司令部と在日米軍司令部、第5空軍司令部との併置により日米共同統合運用調整所が設置され、日米双方の司令部組織の連携や相互運用性の向上が図られ、日本の防空及びミサイル防衛の機能を併せ持つ、日米共同の最重要施設へと態様が変化し、市民の不安

は増している。さらに、平成27年5月にC-V-22オスプレイの横田基地への配備が突然発表された。平成33年(令和3年)までにC-V-22オスプレイ10機を横田基地に配備する計画が示された。これに對して、平成27年6月に当該計画の再検討を強く求める決議を行ったにもかかわらず、平成30年10月に5機のC-V-22オスプレイが配備され、今後数年間で段階的に当機、計10機と約450人の人員を配備する計画となつてきている。この間に平成28年12月の沖繩県におけるM-V-22オスプレイの不時着水をはじめ、国内外での事故や緊急着陸などが続き、市民の不安が拭い去れない中、冒頭に述べたパラシュート落下事故、そして今回のフィンの落下事故が生じた。

福生市議会は、一貫してこれ以上の基地の機能強化は容認できないと表明しているところである。現下の横田基地の状況は、機能強化が更に一層進展し、昼間・夜間における航空機の離発着訓練や人員降下訓練の状況からも明らかに態様の変化が進んでおり、今般の落下物事故も基地機能強化に伴うものと言わざるを得ない。これ以上、福生市民は基地が存在することに伴うリスクを受容することはできない。

よって、福生市議会は、米軍及び国に対し次の事項を強く求める。

1 これ以上、基地機能強化をしないこと。

2 これ以上、福生市民に基地が存在することに伴うリスクを受容させることがないようすること。

以上、決議する。

令和2年7月27日  
福生市議会

陳情